

播磨園だより

平成 28 年 4 月号

『超高齢社会の播磨園』

施設長

平素より地域の皆様には何かとお世話になり誠に有難うございます。引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

前から気になっていたことがある。物忘れがひどくなっているのだ。特に、顔を思い出しても名前がなかなか出てこないのである。いよいよ「認知症」になったのかなと思う。

そういえば、認知症の男性が徘徊中に電車にはねられ、その家族が会社から損害賠償を求められた訴訟があり、家族側の勝訴が確定した。

他人事ではない。

認知症の人と家族の会は「普通に介護していれば、賠償責任は問われないという趣旨である」と受け止めているが、釈然としない。議論が始まったばかりでこれからどう転んでいくかは私たちの関わり方次第だと思う。

脳細胞の老化は誰も避けることはできない。従って、認知症は誰にでも起こりうる現象である。やっかいなのは、当の本人は全く無頓着で責任を感じないが、介護する側はひと時も目を離せない。神経をすり減らし疲れ切ってしまうのが常である。

地域社会全体でやさしく見守っていくにしても、いざ自分がそういった事例を経験しないと理解しにくい側面をもっている。

一方、知的障害者の認知症については従来

より議論されることがほとんどなかったが、障害者の有する個性（障害特性）が認知機能の障害に似かよっていたことも有りなかなか診断が下せなかったのだろうと思われる。今では、知的障害者であっても認知症を発症し比較的若年であっても発症するといわれている。平均寿命の延びとともに最近はよく取りあげられるようになった。

播磨園においても、超高齢社会の実態がみられる。そのため、「高齢知的障害者の支援の在り方」の中で認知機能障害に対しての研修・研鑽を積み支援技術を高めていきたいと思う。責任能力がない人の賠償責任は「監督義務者」が負うとの民法の規定に照らし、施設利用者の場合は事業所が代理監督義務者として事故防止等の責任を負っている。

認知症であるなしに拘らず、ひと時も気の抜けない支援が求められている。

自分の症状は、認知症でなく「老化による物忘れ」であると思い直した。



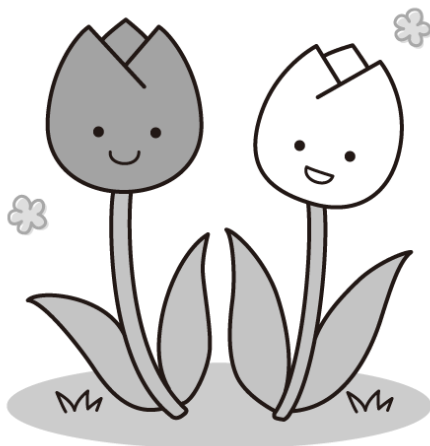
『ええ歳して』

副施設長

時の経つのは早いもので、私もこの4月で55歳の誕生日を迎えます。そう、昔なら定年の年齢ですね。「えっ、この俺が老眼」と落ち込んだところに容赦なくこれでもかと降りかかる様々な身体的な衰えと格闘中の今日この頃です。

先日、ある福祉大学の先生のお話を聴く機会がありました。先生は「福祉は心と言うが甘えるな。どんな仕事も心は最低条件であり、専門的知識、技術がなく心だけの福祉職は有り得ない」と仰いました。全くその通り！ 経験年数だけは人一倍。なのに「これ分からない。なんで私がするの？ 忙しいのに」では「おい、おい」でしょう。目の前の利用者さんに向き合い、寄り添うには専門職として何を求められ、何を求めていかねばならぬのでしょうか。虐待予防や差別解消法の研修以前の問題なのかもしれません。

「若いのにようやるな」は褒め言葉。「ええ歳してようやるわ」は、ちと辛い。



総務課長挨拶

総務課長

春の日差しが心地よい時期となりました。

私事ですが、今年2月中旬にインフルエンザにかかり5日間の静養となりました。職場では第1号でありました。第2号はありません。またインフルエンザの注意喚起を朝礼で言った手前でもあり、反省した次第であります。

復帰しますと利用者の方から「無理せんとときよ」と労りの言葉も頂戴し励ましてくれました。そんな状態での今年の春でした。温かい言葉の春を先に頂き、更に、毎年の春を心に頂きました。

日頃から利用者の方々とは職員という関係がありますが、そこを越えて人として接することの大事さを気付かされました。やはり温かい言葉は心に響きます。私たちの職場でも、支援の現場でも、利用者さんの生活の場面でも接する人を大切にする気持ちを持って穏やかな口調で話せば必ず心に伝わります。逆にきつい言葉は心を痛める事になります。穏やかな心を持って、より一層職務に励みたいと考えております。

また播磨園では日頃から地域の方々は大変お世話になっております。深く感謝申し上げます。今後ともご支援、ご指導とご鞭撻の程宜しくお願い致します。



『新たな年度を迎えて』

支援課長

だんだん温かい日が増えて春らしくなってきました。皆様お花見などには出かけられましたか？

今年度も季節に合わせた行事（ハイキング、スポーツ大会、盆踊り、クリスマス会等）や地域の皆様との交流行事（敬老会、小学生や高校生の皆さん）利用者の方を一班10名強のグループに分けての外出行事を実施していきたいと考えております。

また、利用者一人ひとりの要望を聞き、できるだけかなえていけるよう職員一同努力していきたいと思えます。

さらに支援を進めていくうえで、職員が穏やかな言葉遣いや笑顔でのかかわり、おらかな姿勢で寄り添っていくよう努めてまいります。

これからも皆様の温かいご指導をよろしくお願いいたします。



『文芸部の活動について』

主幹

27年度の文芸部の活動は、

・ハートフルフェアー作品展 出品

5月（相生市市民会館）・健康福祉文化南光基金を頂く。

・コラボアート21 出品

10月（大阪）・地域交流作品展 出品
（南光園）・さよう文化祭 出品

11月（さよう文化情報センター）・ボードレスをめざして

2月（アートホール神戸）・美術工芸作品公

募展 出品

3月（兵庫中央労働センター）などに参加しました。

皆さんは、美術公募展に出品することを日々の目標にしてきました。また、作品展を通して、地域社会との交流を深めてきました。

絵を描く事で、皆さんの思いが聞こえてきます。注目してほしい、他者を驚かしたい、楽しいことをしたい、面白いことをしたいと思われています。

絵を描くことだけでなく、行事や外出、映画会、喫茶、食事、会話など、その人、その人の楽しいこと、面白いことがあります。それをいっぱい見つけて実行できればと思っています。



『違和感が大事だよお〜』

支援課主任

先日職場内研修担当者を対象とした研修会に参加させて頂きました。

「違和感」その時、新任職員研修会を計画する中で、私達のグループの言葉として、一番印象に残った言葉です。

「何かおかしい。」「何がおかしいのだろう。」
「何でそうなるの。」「どうしたら良くなるのだろう。」

違和感を持ち続ける事が大事であることを話し合いました。

薄れないように持ち続けたいです。

何かおかしいと感じた事が、「それは、おかしいです。」と言い合えて、一緒に前向きに考えられる。

プラス思考を目標に、進んでいきたいです。

『尺度』

支援課主任

いきなり尺度と言う題に何の事と思われた人も有るかと思いますが、これは私が最近、家庭で気を付けている事の一つです。

家族に対して文句の多い私は、「またお母さん怒っている。何でそんなにイライラするん。」とよく言われます。そんな私を見て私の姉から「あなたは、自分の尺度で物事を言っている」と反対に怒られました。よく考えると自分の尺でしか物事を測っていない事に気が付きました。その人その人の尺度があり自分とは異なる事。自分の思い通りにはならない事。自分が求める事を100%完璧にして欲しいと求めない事。それぞれの尺を考える事。

家庭だけでなく仕事に対しても共通する事が多くあると思います。今後も自分の尺度で測って物事を言わない事に心がけて行きたいと思います。



調理員主任挨拶

調理員主任

春風の心地良い季節になりました。新年度を迎え、厨房で毎日利用者さんの食事提供をする上で、それぞれに合った食事の量や形態、盛り付けをする事に気を付けて取り組んでいます。

今はトロミ食・刻み食・1口刻み・おかゆ食、その他バラバラに富んでおり、毎日みんな頑張っている食事を作っています。

利用者さんが「美味しかったよ」と言ってくれる事が、いつも嬉しく思います。利用者さんに喜んでもらえるように・美味しい食事を提供できるように、体調管理に気を付けて笑顔の絶えない職場作りをしていきたいと思っています。

『願い乗せて』

総務課主任

日頃は、関係者・地域の皆様には大変お世話になりまして、厚く御礼申し上げます。

利用者の皆様が、笑顔で元気よく生活して頂けるようにスタッフ一同取り組んで参りますので、28年度も温かいご支援を頂きます様よろしくお願い致します。

温かい日差しと空気を感じ、眠っていた草木も息吹き、普段何気なく眺めている景色も鮮やかに変化していきます。そういう春は、好きな季節です。春はいいですねえ～躍動感にあふれて…。

幸福な人生を送りたい…そう誰もが思っていることですね。その目印となる夢や希望を抱き実現させるため、その過程で情報・知識・選択・手段を用いて、自分自身あるいは他人の支えを得ながらその道を進んでいくのでしょうか。

人と人とが「信頼」と「思いやり」で強く「絆」を結んで、幸福な生活が送れますように、そんな社会を望みます。

住む街が、住む地域が、関わる人々がそうであるように…。

幸福への願いを乗せた紙飛行機…飛んで行け、飛んでみよう。

最近の私のお気に入り S o n g から

人生は紙飛行機 願い乗せて飛んで行くよ
風の中を力の限り ただ進むだけ
その距離を競うより
どう飛んだか どこを飛んだのか
それが一番大切なんだ さあ心のままに
365日

「365日の紙飛行機」より



ハンドメイドキッチン

「さわらの菜種焼き」

材料 4人分 (1人分 196kcal)

- ・ さわら 4切
- ・ ブロッコリー 40g
- ・ 卵 2個
- ・ マヨネーズ 大さじ2
- ・ 塩、こしょう 適量

作り方

- ① 鯖に塩、こしょうで下味をつける。
- ② ブロッコリーは下ゆでし、みじん切りにする。
- ③ 卵を炒り卵にし、②とマヨネーズと一緒に和えておく。
- ④ 鯖の水分を拭き取り、③を上のにのせてオーブンで焼いて出来上がり。

周りの景色も春らしくなり、とても気持ちの良い季節になりましたね。

「菜種焼き」は黄色と緑で、とっても春らしい色の出来上がりになります。

食卓にも春の色を取り入れて、楽しい食事の時間が過ごせるといいですね。



行事紹介

- 4月 6日 歩こう会外出
17日 家族会総会・いちよう園祭
20日 内科往診

- 5月 18日 内科往診
21日 ゆうあいスポーツ大会
27日 ばんたん親善運動会

- 6月 4日 利用者健康診断
15日 内科往診

日程未定: 春季ハイキング、耳鼻科往診、グループ外出

保健だより

「肺炎について」

肺炎は特に 65 歳以上になると罹りやすくなる感染症のひとつで日本人の死亡原因の第 4 位です。風邪をこじらせたものとは別の疾患で肺胞に細菌やウイルスなどの病原体が感染して炎症を起こす病気です。高齢者に多い細菌性肺炎として誤嚥性肺炎があり食道に流れ込むべき食べ物や飲み物、ツバ等が細菌と一緒に誤って気管から肺の中に入り込み肺が炎症を起こすことを言います。お口から食物等を取ることがない方でも、お口の中の細菌は繁殖し、ツバも出てくるので無意識に飲み込んで誤嚥性肺炎にかかることがあります。誤嚥は、加齢や病気によって飲み込む機能が落ちてくると起こりやすくなるので、お口の中をキレイにして予防しましょう。予防のポイント①お口の清潔を保つ。②病気に対する抵抗力を高める。③飲み込む力を保つ。食べる事は生きていくうえで大切な事であり楽しみの一つでもあります。予防に努め健康な日々を送りましょう。